

平成30年度 第3回大阪府立泉南支援学校「学校運営協議会」

《 日時 》 平成31年2月7日（木） 10:00～12:00

《 次第 》

1 校長あいさつ

2 協議 「地域との連携・協働の取り組み」

新たな取り組みへのアイデア提案 ～年間のまとめにかえて～

*今年度初めて地域の方々が本校の地震避難訓練に参加され、実施後いろいろな反省点がみえてきた。それらを検討しつつ今後も進めていく方向で考えていく。それ以外に、支援学校のほうから積極的に地域行事への参加の要望があった。盆踊りややぐら、あるいは信達小学校で行っている田植えの体験学習や、信達中学校で11月に行っているフェスタに参加してはどうか、等。このフェスタには以前、高等部が参加したこともあるが、単年で終わっている。毎年続けることでお互い協力する力が生まれるはず。

*支援学校に入ると、地域との関係が薄れたり、切れたりすることが心配。居住地校交流や学校間交流などを増やすことが必要。また、作品展から広げていくこともできるのではないかな。

*本校でどのような交流をしているのか。

- 全学部…学校周辺地域へは、藤まつり、岡中の大楠、埋蔵文化財センター等に出かけている。

- 小学部…信達小学校3年生と、本校の1～3年生で行っている。

本日聴いた地域と信達小学校の田植えに本校も参加させてもらうことで、学校間交流に発展させていける可能性がある。

- 中学部…信達中学校のギター・マンドリン部と年1回、本校にて演奏会を通じての交流会。

生徒会役員3人が信達中学校の音楽会に招かれ、演奏を聴いて感想を述べた。

本校の作品展に信達中学校の支援学級生徒の作品を展示している。

- 高等部…地域清掃活動。

りんくう翔南高校とは、文化祭やお互いの作品展を通じて交流を深めている。

実習や職業体験、アローズでの作物販売等は啓発活動になっている。

*交流からさらに踏み込んで、支援学校の機能を活かし、障がいや子どもだけにとどまらず教員の持っている「支援についての知識」等を地域や大人（認知症の方等）に伝え、共生社会を作っていけたら良い。

3 事務局より

- 平成30年度学校教育自己診断結果報告
- 平成30年度進路指導状況報告
- 平成30年度いじめに関するアンケート実施報告
- 平成30年度学校経営計画の反省
- 平成31年度学校経営計画の提案

4 意見交換、まとめ

5 校長あいさつ